

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	田沢湖病院医療費収納管理業務			
担当課係名	総務管理課	係	作成者	佐々木純悦
総合計画での位置づけ	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち		総合計画のページ
	基本計画	地域医療、救急医療体制の整備		
	主要施策	地域医療連携の強化		48
予算費目	市立病院事業	会計	款	項
事業期間	平成	年度	～	平成
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	医療法			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	住民の生活に不可欠の医療サービスを提供
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	合理的かつ能率的な運営によって経済性を発揮し、最小の経費で最良のサービスを提供
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	合理化、効率化による経費の節減は、サービスの向上ひいては利用者たる住民の福祉の増進に寄与

【事務事業の推移】

(単位：千円)

		項目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	患者負担分過年度分滞納繰越額	円	6,498,952	3,442,393	
		患者負担分年度末滞納繰越額	円	3,442,393	3,251,400	
	成果指標	患者負担分当年度末収金徴収額	円	608,719	190,993	
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)			541,717	547,900	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他		120,789	95,409	
		一般財源		420,928	452,491	
	人件費(B)			540,875	493,988	
	職員数			1.5	1.5	
	職員平均人件費			9,834	10,081	
(A)+(B)投下コスト			1,082,592	1,041,888		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)					
	市民1人当たりのコスト(円)			33,949	33,186	

【事務事業の今までの成果】

未収金の徴収対策として、未収金にならないよう窓口対応（支払いの約束、納入計画書を作成し納付誓約書の提出）を行っている。現在、19年度分の滞納繰越額は1件で12,880円と成果を上げている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	医療費抑制、医師不足、医師の偏在化による地域医療の崩壊
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	救急車での搬送を可能とする救急医療体制の復活

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	未収金対策として成果が出ていると判断している。
	B 見直しの上で継続（実施）	
	C 大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	未収金は対策としての効果が表れて、未収金が減少している。今後についても未収金の対策に努める必要があると考える。

一次評価診断図

